

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
パ	細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
1		ねたての都市(まち)PR事業	H24~H33					
	②	はごろも祭り・カチャーシー大会運営事業	H24~H33	市民意識の高揚と親睦を図りつつ、地域活性化及び商工・観光振興の観点から「はごろも祭り・カチャーシー大会」を支援する。	・はごろも祭りプログラム 各イベント数(20イベント) ・カチャーシー大会参加数 子供・団体の部 (22チーム×20名) 個人の部(100名)	はごろも祭り・カチャーシー大会来場者数 来場者数:14万人 基準値:(平成22年 13万人)	(今後の展開方針) はごろも祭り・カチャーシー大会来場者数 目標値(H30年):15万人	
	③	風景づくり推進事業	H24~H25	観光振興の観点から、自然景観や伝統的景観など様々な景観資源の保全・活用や新しい建物等と調和した仕組みの構築を図るため、平成24年度において景観計画(素案)を策定したが、平成25年度において景観計画(原案)景観条例(原案)を策定し、潤いと安らぎある景観づくりを推進する。	景観計画策定委員会の開催 景観計画(原案)の策定 景観条例(原案)の策定 景観ガイドラインの策定 市民、事業者への周知	景観計画(原案)の策定 景観条例(原案)の策定 景観ガイドラインの策定	(今後の展開方針) 平成25年5月15日付で宜野湾市は景観行政団体となり、今後は、計画・条例(原案)の策定を図り、平成26年度施行に向けて推進していく。	
	④	企画展開催事業	H24~H33	市民や観光客に宜野湾市の歴史・文化への理解を深めてもらうことを目的とした企画展を開催する。	宜野湾市の歴史・文化・自然的な特色を活かした企画展を開催する(年間7本開催の内、交付金に係る企画展は3本)。	宜野湾市の歴史・文化・自然的な特色を活かした企画展を開催する(年間7本開催の内、交付金に係る企画展は3本)。	(今後の展開方針) 企画展の継続実施(年間5本程度) H26年度:「石灰岩台地からくらす生き物と人びと」展(宜野湾市の自然環境を紹介し、その環境下で生活する生物や人びとの生活を紹介します)	
	⑤	宜野湾市産業まつり	H24~H33	市の特産品のPR及び産業振興を図るため、宜野湾市産業まつりの開催を支援する。	宜野湾市産業まつりの開催 動員者数:1万人	宜野湾市産業まつりの開催 動員者数:1万人 ⇒基準値:平成24年8千人	(今後の展開方針) H33年度目標値 動員者数:3万人	
	⑥	文化財説明板・標識設置事業	H24~H33	観光振興及び文化教育に資するため、市登録・指定文化財の所在地に標識や説明板を設置するとともに、自治会事務所等に「地域文化財案内板(ふるさと案内板)」を設置する。	文化財標識・説明板設置件数:5件 地域文化財案内板設置件数:1件	文化財標識・説明板設置件数:5件 地域文化財案内板設置件数:1件		

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
パ	細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
	⑦	ぎのわん車いすマラソン大会補助事業	H25～H33	本市西海岸に位置する海浜公園及びその周辺において、毎年12月に開催されるぎのわん車いすマラソン大会(宜野湾市社会福祉協議会が事務局)に対して、事業運営の補助を行う。	ぎのわん車いすマラソン大会に対して、補助を行う。	大会参加者目標数 全体220名(内県外参加者30名)	(今後の展開方針) 同大会に継続的に補助を行い、一層充実したものにしていくことにより、全国的な大会として、より一層認知されるように取り組み、障害者スポーツの振興及び本市及び沖縄県のPRにつなげる。 大会参加者目標数(H33) 全体250名(内県外参加者数50名)	
	⑧	プロ野球キャンプ野球場施設整備事業	H24～H25	観光振興の観点から、横浜DeNAベイスターズのキャンプ地である市立野球場のスタンドベンチ・フェンス等の整備を行い、施設の機能向上を図る。	・宜野湾市立野球場のスタンドベンチ等の改修	・プロ野球キャンプ見学者数 目標値(H25年度):25,000人 基準値(H24年度):22,300人	(今後の展開方針) H26年度:照明柱整備(1柱) H27年度:照明柱整備(2柱)	
	⑨	琉球海炎祭支援事業	H25～H33	日本の夏の風物詩である花火と沖縄音楽・文化の融合によるオリジナリティに溢れた沖縄最大の一大イベントであり、本市の観光振興に寄与しているため、イベントを支援し、観光・コンベンション機能の充実を図る。	・琉球海炎祭 有料観覧エリア県外客数 観光客 3,400人	琉球海炎祭有料エリア来場者数 来場者数:1万人	(今後の展開方針) 琉球海炎祭有料エリア来場者数 目標値(H29年):1.5万人	
	⑩	観光振興情報発信事業	H25～H29	市内の魅力や多彩な観光資源を広く知ってもらうため、ぎのわんガイドマップを作成し県内外から訪れる方々に「ねたての都市(まち)」をアピールする。	宜野湾ガイドマップ作成 (5,000部)	宜野湾ガイドマップ作成部数 (5,000部)	(今後の展開方針等) 宜野湾ガイドマップ作成部数 累計値(H29年):25,000部	
	⑪	横浜DeNAベイスターズグリーンコミュニティー事業	H25～H33	プロ野球キャンプは、温かい沖縄を全国にアピールする絶好機会であり、キャンプ地である宜野湾海浜公園を南国に花で埋め尽くし、美ら島沖縄を全国へ発信し、観光・経済に大きな効果が期待できる。	植樹する花の苗数 (12,000鉢)	キャンプ期間中における来場者数 来場者数:2.5万人 ・プロ野球キャンプ見学者数 参考基準値(H24年度):22,300人	(今後の展開方針) キャンプ期間中における来場者数 目標値(H29年):3万人	
	⑫	宜野湾市西海岸地域開発検討調査事業	H25～H33	観光・リゾート産業の振興及びコンベンション支援機能の充実整備等に向けて、西海岸地域のあり方について検討調査を行い、その調査等に基づき、施設整備を行う。	宜野湾市西海岸地域開発基本構想の策定	宜野湾市西海岸地域開発基本構想の策定	(今後の展開方針) 基本計画・実施計画を経て、観光・リゾート産業の振興及びコンベンション支援機能の充実整備等を目標とする。	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
パ	細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
	⑬	トピカルビーチ防犯カメラ設置事業	H25	県内外から年間28万人が訪れるトピカルビーチの周辺に防犯カメラを設置して、安心・安全な状況を確認し、観光資源の拡充を図る。	防犯カメラ10台設置	防犯カメラ10台設置		
2		地域社会とともに学ぶ・育む人材育成事業	H24～H33					
	①	スクールカウンセラー活用事業	H24～H33	不登校やいじめ等の教育問題について、学級担任、児童生徒、保護者等が連携して取り組めるよう相談業務を充実させるため、市内4小学校に定期的にスクールカウンセラーを派遣する。	・スクールカウンセラー配置 市内4小学校(2名)	小中学校における不登校出現率 小学校 0.3%以内 中学校 2.5%以内 (出展)『平成25年度宜野湾市の学校教育』P28参照	(今後の展開方針) スクールカウンセラーとの情報交換(月1回) 学校への聞き取り調査	
	②	スクールソーシャルワーカー活用事業	H24～H33	不登校児童生徒の復学を支援するため、スクールソーシャルワーカーを配置する。	スクールソーシャルワーカー配置 第一相談室SSWコーディネーター(3名) 市内4中学校SSW(4名)	スクールソーシャルワーカー配置 第一相談室(3名)SSWコーディネーター 市内4中学校SSW(4名)	(今後の展開方針) 教育相談・家庭訪問・登校支援などの支援活動を行い、不登校児童の学校復帰、学級復帰に努める。	
	③	適応指導教室事業	H24～H33	不登校児童生徒の学校適応を促進するため、児童生徒の居場所づくりとして宿泊学習、自然体験学習及び他校との交流体験活動を実施するほか、不登校児童生徒の適応指導に関わる調査研究や教育相談等を実施する。	適応指導教室在籍児童生徒数:4名	小中学校における不登校出現率 小学校 0.3%以内 中学校 2.5%以内 (出展)『平成25年度宜野湾市の学校教育』P28参照	(今後の展開方針) 宿泊学習で、他の適応指導教室との交流を行う。 講師を招いての体験交流会の実施	
	④	児童生徒相談事業	H24～H33	教育問題の解決に向けて相談業務の充実を図るため、青少年教育相談指導員、臨床心理士、教育相談指導員、自立支援指導員を配置する。	青少年教育相談指導員配置:4名(第二相談室) 臨床心理士配置:1名(第二相談室) 教育相談指導員配置:3名(市内3小学校) 自立支援指導員配置:5名(市内4中学校)	青少年教育相談指導員配置:4名(第二相談室) 臨床心理士配置:1名(第二相談室) 教育相談指導員配置:3名(市内3小学校) 自立支援指導員配置:5名(市内4中学校)	(今後の展開方針) 非行系怠学の不登校、心因性による不登校児童生徒の相談支援、登校支援を行うなかで登校に向けての自立心の養成を促す。	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
パ	細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
	⑤	非行防止等巡回活動事業	H24～H33	児童生徒の健全育成を図る観点から、関係機関や地域と連携して少年少女の問題行動に対して必要な指導・助言を行うため夜間街頭指導員を配置する。	夜間街頭指導員配置・活動人数 16人	夜間街頭指導員配置・活動人数 16人	(今後の展開方針) 夜間のはいかい箇所の把握に努め巡回箇所の見直しを図り、児童生徒の犯罪や事故等の未然防止と抑止に繋げる。	
	⑥	学習支援員活用事業	H24～H33	学習の遅れがちな児童生徒に対して、学習支援をすることにより、基礎的・基本的知識技能の習得を図り、主体的に学習に取り組む態度を養うことを目的として学習支援員を配置する。	学習支援員の配置:12校 小学校8人・中学校4人	全国学力・学習状況調査を全国平均並みとする。	(今後の展開方針) H26以降の配置 学習支援委員の配置:13校 小学校9校、中学校4校 (平成26年度小学校1校が開校するため)	
	⑦	派遣費補助金交付事業	H24～H33	児童生徒の文化活動及びスポーツを奨励するため、学校教育の一環として県外に派遣される場合に要する旅費等を補助する。	派遣補助団体数: 30団体	派遣補助団体数: 30団体 (文化活動団体数: 5団体 スポーツ活動団体数: 25団体)	(今後の展開方針) H26～H33の派遣補助団体見込数は、概ね240団体	
	⑧	スポーツ少年団派遣費補助事業	H25～H33	スポーツ活動による児童の健全育成を図るため、スポーツ少年団等に登録している市内在住の小中学生が一定の基準を満たして県外に派遣される場合に要する旅費等を補助する。	大会等派遣生徒数:141人	大会等派遣生徒数:141人	(今後の展開方針) H26～H33の累計:720人	
3		文化財等保護・活用推進事業	H24～H33					
	①	文化財保存整備事業	H24～H33	宜野湾市では、市が指定する文化財保存及び活用が課題である。平成25年度は、市指定有形民俗文化財「我如古ヒージャーガー」の安全対策工事を実施する。また、琉球王族の墓である本部御殿墓の石積修復、整備に必要な実施設計を行う。	指定文化財の保存整備件数:1件	指定文化財の保存整備件数:1件		
	②	歴史公文書等整理・活用事業	H24～H33	歴史的価値を有する宜野湾市(村)の公文書等を整理し、市民サービスに資するため検索システムの構築等を行う。	歴史的価値を有する公文書等の整理:150冊	歴史的価値を有する公文書等の保存整理冊数:150冊		

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
パ	細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
4		地域で安心子育て支援事業	H24～H33					
	①	預かり保育事業	H24～H33	地域の実態及び保護者の要請に応じて、公立幼稚園において、通常の保育時間の終了後や長期休業期間中等に預かり保育を実施する。	預かり保育実施幼稚園数:8園 預かり保育担当教諭:1園1名配置	預かり保育利用者数:1,500人 一時預かり保育利用者数:400人	(今後の展開方針) H33年度目標値: 預かり保育利用者数年間2,000人以上	
5		はごろも人材育成事業	H24～H33					
	①	中国廈門理工学院留学生派遣事業	H24～H33	中国に対する理解を深め、国際的視野を持った人材育成を図るため、友好合作都市である中国福建省廈門市の市立大学に1年間研修留学生を派遣する。	派遣留学生数:1人	派遣留学生数:1人	(今後の展開方針) H24～H33年度 派遣留学生数:10人(累計)	
	②	平和市民啓発事業	H24～H33	(平和学習派遣事業) 全国の青少年と交流し、命の尊さや平和意識について学ぶため、8/9に長崎で開催される「平和記念式典」及び「青少年ピースフォーラム」に市内生徒8名を派遣する。	平和学習派遣生徒数:8人	平和学習派遣生徒数:8人	(今後の展開方針) H24～H33年度 平和学習派遣生徒数:80人(累計)	
	③	小学校英語教育課程特例校事業	H24～H33	本市は、平成15年度に国の英語教育特区の認定を受け、平成16年度以降、小学校に「英語科」を新設、小中一貫した英語教育を行っている。効果的・継続的な指導のもと、児童生徒の国際化時代に必要な外国人との実践的コミュニケーション能力の基礎を育むため、外国人英語指導助手及び日本人英語教師を小学校に派遣する。	ALT(外国人英語指導助手)及びJTE(日本人英語教師)を配置 :全小学校(8校) ALT7名 JTE10名	小学校児童英語検定受験者数の増 H24年度は約2000名の受験者数	(今後の展開方針) H24～H33年度 児童英語検定受験者数:20,000名以上(累計)	
	④	外国人教師招致事業	H24～H33	本市は、平成15年度に国の英語教育特区の認定を受け、平成16年度以降、小学校に「英語科」を新設、小中一貫した英語教育を行っている。効果的・継続的な指導のもと、児童生徒の国際化時代に必要な外国人との実践的コミュニケーション能力の基礎を育むため、外国人英語指導助手を中学校に派遣する。	ALT(外国人英語指導助手)の配置 :全中学校(4校) (各中学校1名配置)	中学校英語検定受験者数の増 H24年度は約1200名の受験者数	(今後の展開方針) H24～H33年度 英語検定受験者数:13,000名以上(累計)	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
⑤		学校ICT活用指導支援事業	H24～H33	児童生徒の情報活用能力向上を図るため、ITサポート支援員を派遣し、教育用PC、電子黒板及びプロジェクターなどを活用した情報教育授業を実施する。	・情報夏期講習会:計8回 ・情報教育研究会検証授業:計12回 ・ICT活用嘱託員・補助員の配置:計2名	教師用アンケート「授業にICTを活用して指導できる」率:(H25年度より調査実施) 成果目標:小学校90%以上、中学校60%以上	(今後の展開方針) 教師の電子黒板などのICT機器類を活用した授業の提案を行い、児童に分かりやすく、教師の手作業による事務負担の軽減を図ることを目的とする。	
6		防災安全基盤強化事業	H24～H33					
②		特殊災害対応資機材整備事業	H24～H25	コンベンションエリアや普天間米軍基地など当市に重要拠点があり、特殊災害等の発生が危ぶまれている。その特異性を含んだ災害に対し、特殊災害対応資機材を整備することにより消防力の強化が図られ、迅速な対応が可能となる。	特殊災害対応資機材の整備	特殊災害対応資機材の整備		
7		宜野湾市基地返還跡地転用推進基金事業	H24～H33					
①		宜野湾市基地返還跡地転用推進基金事業	H24～H33	普天間飛行場、キャンプ瑞慶覧は、民有地の占める割合が大きく返還後の跡地利用を行う際、公共施設用地がかなり不足することが予想されるため返還前の段階から計画的用地確保を目的に行う。	・普天間基地取得面積(253,000㎡)に対し、(16,229㎡)を取得する。 ・キャンプ瑞慶覧取得面積急傾斜地70,000㎡分の基金の積立を行う。(26年度に購入)	普天間基地の市の取得面積(253,000㎡)に対し、(16,229㎡)を取得する。(達成率23%を目標とする。) *キャンプ瑞慶覧は25年度は積立のみで26年度に購入予定。 ※達成率:市の取得目標面積(253,000㎡)に対する取得面積	(今後の展開方針) 市の取得目標面積は253,000㎡であるが、現在までのところ、目標値の10%程度の達成率である。今年度以降の当面の目標として、49%の達成率を目標としている。キャンプ瑞慶覧は26年度において急傾斜地必要面積70,000㎡を取得を目指す。	12月、3月変更 (計画変更に伴う各目標変更)

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
パ	細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
8		大規模駐留軍用地跡地等利用推進事業	H24～H33					
	①	普天間飛行場跡地利用計画策定事業(地権者意向調査)	H24～H33	普天間飛行場の跡地利用推進のため、関係地権者や市民の合意形成に向け、情報提供や意向把握等の調査を行う。また、市民によって構成される「N Bミーティング」や若手地権者等によって構成される「若手の会」の活動を助成し、合意形成についての取り組みを行う。	地権者・市民意向把握の実施、しくみづくりの取り組み	普天間飛行場跡地利用計画策定	(今後の展開方針) 合意形成に向け、市全体の将来像(市全体の土地利用、道路網や跡地利用方針等)検討のための「(仮称)普天間飛行場まちづくり協議会」の立ち上げに向けて取り組んでいく。	
	②	普天間飛行場跡地利用計画策定事業(県市共同調査)	H24～H33	宜野湾市と沖縄県が平成24年3月に策定した「全体計画の中間取りまとめ」について、市民・県民・地権者等に対して情報発信及び意見の聴取を行い、普天間飛行場跡地利用計画に反映させるための取り組みを行う。	全体計画の中間取りまとめについての意向把握を行う。	普天間飛行場跡地利用計画策定	(今後の展開方針) 沖縄における在日米軍施設・区域に関する統合計画において、返還時期が示されたことを受け、具体的な跡地利用の取り組みについての行程計画を作成し、跡地利用計画の策定に向けて取り組んで行く。	
	③	普天間飛行場跡地利用計画策定調査(自然環境調査)	H24～H33	キャンプ瑞慶覧(宜野湾市地区)の跡地利用計画の見直しを踏まえ当該地区の特殊地形等踏査や植生調査、湧水調査・普天間基地周辺の湧水調査等を行い宜野湾市の自然的特性に関する調査を行い、跡地利用計画の推進を図る。	市域一体の自然環境に関する調査	普天間飛行場跡地利用計画策定	(今後の展開方針) 基地内立入調査が行えるように、関係機関と連携を図り、自然環境調査の結果を反映した跡地利用計画に取り組んで行く。	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ			細	H25事業内容		H25活動目標(指標)	今後の展開方針等	
	④	キャンプ瑞慶覧跡地利用計画策定事業	H24～H33	平成25年4月に発表された「沖縄における在日米軍施設・区域に関する統合計画」によって速やかな返還が明記された西普天間住宅地区について、地権者等の意向を把握しながら、平成16年度に策定した基本計画の見直しを含め、まちづくりについての検討を行う。	キャンプ瑞慶覧(宜野湾市地区)跡地利用計画策定	キャンプ瑞慶覧(宜野湾市地区)跡地利用計画策定	(今後の展開方針) H26年:実施計画		
	⑤	埋蔵文化財発掘調査支援検討調査事業	H24～H33	埋蔵文化財調査の情報と進捗する試掘・確認調査の関連情報が、地権者等に広く提供・公開できる「仕組み」を整備する。合わせて、平成23年度に作成した普天間飛行場の「重要遺跡保存整備基本構想」を基に、『遺跡(重要文化財)以外の文化財』と『基地外文化財』も統一的に見据えた「重要文化財保存整備基本方針」を作成する。	重要文化財保存整備基本方針の策定	重要文化財保存整備基本方針の策定	(今後の展開方針) 普天間飛行場内での文化財調査の結果等を地権者・地域等に周知し重要文化財の評価・選別にに向けて意見交換を行う。		
	⑥	キャンプ瑞慶覧文化財保護マスタープラン策定調査事業	H24～H33	返還が予定されているキャンプ瑞慶覧地区の跡地利用の促進及び円滑化等に向けて、文化財等の利活用・管理運営・まちづくりなどに興味・関心の高い人を地権者や関係地域、市民等から一般公募や推薦により集め、「ズケランゆんたく会」を発足にて、運営主体づくりに向けて意見交換を行い、事例視察や周知、啓発活動等を実施する。	キャンプ瑞慶覧文化財保護マスタープラン策定調査	キャンプ瑞慶覧文化財保護マスタープラン策定調査	(今後の展開方針) キャンプ瑞慶覧内での文化財調査の結果等を地権者・地域等に周知し重要文化財の評価・選別にに向けて意見交換を行う。		
9		市民会館施設整備事業	H24～H29						
	①	市民会館施設整備事業	H24～H29	宜野湾市民会館は文化活動の拠点として、市民の発表の場や芸術の鑑賞の場として活用されているが、建設から30年経過し老朽化が進んでいる。しかし、普天間飛行場の移設、跡地利用に目途がつかない状況下では、建替計画の策定が難しいため、現在の設備等を改修し、市民がより利用しやすい施設として機能向上を図る。 25年度は屋上防水及び外壁の改修を行い、台風、豪雨時の漏水を防ぎ、市民会館施設の安定的な運営と長期利用を図る。	屋上防水及び外壁改修工事 (雨漏り等漏水の改善)	屋上防水及び外壁改修工事 (漏水回数 H23:3回、H24:5回→H26:0回)	(今後の展開方針) H26年度:舞台機構改修工事等 H27年度:エレベーター掛替工事 H28～30年度:空調設備改修、ホール絨毯、客席取替工事等		

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成25年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		H25成果目標(指標)	備考	
パ	細			H25事業内容	H25活動目標(指標)		今後の展開方針等	
11		市民図書館施設整備事業	H24～H28					
	①	市民図書館施設整備事業	H24～H28	宜野湾市民図書館は、生涯学習の施設の拠点として市民に活用されているが、開館から20年経過し、図書館の施設整備及び備品拡充を図る必要がある。しかし、普天間飛行場の移設、跡地利用に目途がつかない状況下では、建替計画の策定が難しいため、現在の施設を整備し市民サービスの向上を図る。 25年度は空調設備改修工事、外壁補修設計及び工事を実施する。	施設の整備箇所 2か所 (空調設備、外壁)	施設の整備箇所 2か所 (空調設備、外壁)	(今後の展開方針) 平成26年度:外階段滑り止め修繕	
12		普天間飛行場周辺における航空機騒音測定事業	H25					
	①	普天間飛行場周辺における航空機騒音測定事業	H25	・普天間飛行場周辺において航空機の騒音測定機器を設置し、騒音データを測定する。測定したデータを基に騒音環境の適正化を求める。 ・新基準値(エルデン)での測定が可能となる。	・騒音測定機器(真志喜局1機)を設置し、騒音測定を実施。 ・騒音の新基準値(エルデン)での測定が可能となる。	・騒音測定機器(真志喜局1機)を設置し、騒音測定を実施。 ・騒音の新基準値(エルデン)での測定が可能となる。	(今後の展開方針) 普天間飛行場が閉鎖されるまで毎年騒音測定を実施し、測定したデータを基に騒音環境の適正化を求める。	

H25活動目標(指標):平成25年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H25成果目標(指標):平成25年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。